



宇和高等学校 3年

白石 慎治さん (大洲北中出身)

※都大路…毎年12月に京都市で開催される全国高等学校駅伝競走大会の通称。高校駅伝の最高峰の大会で、高校生ランナーにとって憧れの舞台。

中学生から本格的に陸上を始めた白石さん。宇和高校陸上部への入部と同時に寮生活をスタートし、寮の一期生として仲間と生活や練習の基盤を築いてきました。寮では陸上部の和家監督も寝食を共にし、食事などの生活面は監督の奥さんが寮母としてサポート。中でも寮母さんが作るハヤシライスが白石さんの大好物です。「長い時間を一緒に過ごす中で、人として成長させてもらった」と話します。和家監督も「3年生になる頃には、ほとんど指導が必要ないほど人間的にも成長してくれた」と信頼を寄せています。

着実に力を伸ばした白石さんは、やがてエース区間を任される存在へと成長します。高校1年時は部員不足で他校との合同チームで大会に出場。2年時には宇和高校単独チームで県大会5位に入り、自身は区間賞を獲得しました。迎えた3年時、県予選では全国大会出場を逃しましたが、続く四国大会で3位に入り、宇和高校として11年ぶりの全国大会出場を決めました。特に四国大会は緊張したといい、「出場が決まった瞬間、泣き崩れてしまった」と当時を振り返ります。

全国大会では、2時間10分切りを目標に挑戦。記録にはわずかに届かなかったものの、念願だった都大路*を仲間と楽しみながら駆け抜けました。「ここまで来られたのは仲間のおかげ」と感謝の思いを語ります。卒業後は東海大学へ進学し、競技を続ける白石さん。今後の目標を尋ねると、「箱根駅伝に出場したい」と、さらなる高みを目指して走り続けています。

HighSchool NOW

～市内5校の高校生によるリレーエッセイ～

Vol.109 大洲高等学校

2月に「令和7年度県立学校振興計画推進事業における職業・学科横断学習研究推進公開授業」が行われ、本校商業科と大洲農業高校の生徒が交流しました。4月の統合により、パワーアップした教育活動を展開できることが楽しみです！

〈生徒の感想〉

初めは緊張しましたが、自己紹介や互いの学科の特色などを話すうちに打ち解け、楽しく授業を受けられました。「ビジネス基礎」では、単利と複利の計算方法を学習し、全商電卓検定2級の問題に挑戦しました。「ビジネス法規」では、知的財産権について学び、商業科や新設される農業科のマークを考えました。「とうじゅくん」の新デザインでは、農作業服姿やコンバインに乗ったバージョンなど、ユニークな案が出て充実した時間でした。



大洲高校マスコットキャラクター「とうじゅくん」

一次回は大洲高等学校肱川分校からですー